

## 平成29年度あきる野市教育の日 第22回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会

平成29年12月2日に、第22回未来を築く青少年健全育成あきる野市大会を秋川キララホールで開催しました。

中学生の主張大会は、市内在住・在学の中学生959人の応募者の中から選ばれた生徒が、日常生活を通じて考えていることや、願い、希望などを発表しました。

小学生の人権メッセージ発表は、市内10小学校のうち5校の代表者が人権について考えていることを発表しました。

また、市内7中学校の行事や活動などの紹介資料を各校で作成し、ポスター展示をしました。発表者と発表作品は次の表と

## 平成30年成人式

平成30年1月8日の成人の日、秋川キララホールにて成人式を挙行了しました。

式典では、来賓の祝辞や成人者代表による成人の誓いのほか、青少年合唱団のリトルエコーズが歌で祝福しました。また、あきる野ルピアに設けた「おしゃべり広場」にも、多くの成人者が集い、昔話に花を咲かせました。



新成人代表  
井上日菜子さん

## 第23回あきる野市 青少年音楽の祭典

平成30年2月3日に、秋川キララホールにてあきる野市青少年音楽の祭典を開催しました。市内の小・中・高等学校、青少年音楽団体等が一堂に会し、日頃の成果を発表しました。

### 出演団体（出演順）

#### ●午前の部（12団体）

前田小学校、草花小学校、五日市小学校、多西小学校、一の谷小学校、東秋留小学校、屋城小学校、増戸小学校、西秋留小学校、都立あきる野学園小学校、少年少女合唱団アヴニール、南秋留小学校

#### ●午後の部（13団体）

都立あきる野学園開放太鼓、都立五日市高等学校、リトルエコーズ、五日市中学校、増戸中学校、西中学校、御堂中学校、東中学校、るのママ吹奏楽団、菅生学園初等学校・東海大学菅生高等学校中等部・東海大学菅生高等学校合唱部、秋多中学校、あきる野市吹奏楽団（キララバンド）、東海大学菅生高等学校

### 【中学生の主張大会】 ※各賞ごとの発表順、敬称略

賞	学校名	発表者	発表作品
最優秀賞 観客賞	五日市中学校	大野 瞳子	「私にできること」
優秀賞	東中学校	谷合 樹利	「家族の大切さ」
	菅生高校中等部	古沢 萌絵	「偏見や差別の問題について」
	東中学校	今田 和希	「支えに感謝して」
優良賞	秋多中学校	片山 美里	「修学旅行から学んだこと」
	西中学校	飯田 吏雄	「『普通』の価値」
	五日市中学校	関口 詩七	「オリンピックを支える人々」
	御堂中学校	星 愛結美	「協力する気持ちを持つ」
	増戸中学校	伊藤 由希	「難民について知る～私達に出来る事～」
	菅生高校中等部	村田 彩葉	「地球温暖化」
	西中学校	田中 みなみ	「障害者に対しての思い」
	御堂中学校	田口 愛洸	「自分とはちがうということ」
	秋多中学校	八柳 航太郎	「ミサイルの脅威は他人事でよいのか」
	増戸中学校	米山 ことみ	「大切な存在」

### 【小学生の人権メッセージ発表】 ※発表順、敬称略

学校名	発表者	発表作品
多西小学校	白石 直樹	「一番」
屋城小学校	渡辺 奏野美	「人権とは自分と同じように人を大切にすること」
草花小学校	増田 伽保	「優しい人であふれた未来」
前田小学校	高木 菜緒	「相手の気持ちを考えて行動する」
五日市小学校	木住野 和	「平和の車になるために」

### 【中学生の主張大会入選者】 ※敬称略

秋多中学校		小楠 海良	「自分らしく、強く生きる」
宮永 乃の花	「日本の伝統文化をこれからも」	私市 大輔	「地球温暖化を防ぐために」
岸野 耀美	「私の将来」	菅原 涼太	「大切なこと」
東中学校		小林 新夏	「私の世界」
井ノ山 一千翔	「病気を経験して」	岸峯 綾乃	「一人じゃない」
熊谷 慧汰	「地域とのかかわりの中で感じたこと」	中井 義久	「剣道で学んだこと」
西中学校		玉木 颯人	「自然と人間の共存」
柴田 奈真	「児童相談所に期待したい」	石井 彩陽	「最後の笑顔」
田野倉 夢乃	「なぜ人は一人では生きていけないのか」	清水 大成	「障害者の差別」
御堂中学校		加藤 麻菜美	「あいさつと言葉」
市川 陽輝	「いじめについて考える」	小林 優友	「身近に起こる差別について」
内山 恵理衣	「人が抱えているもの」	関口 真緒	「今のままで良いのだろうか。」
増戸中学校		西田 伊吹	「未来の平和」
田中 桃由	「知る事の価値」	伊川 美幸季	「隠れたいじめをなくすために」
五日市中学校		杉田 光希	「ポイ捨てすることの無意味さ」
栗原 瑠奈	「伝える事の大切さ」	栗原 春菜子	「どんな人になりたいか」
酒枝 晟矢	「中学生は大人か子供か」	田倉 壮真	「経験することの大切さ」
菅生高校中等部		奥村 素晴	「高齢者と向き合う」
岡野 純平	「ジャンクフードをやめるためには」	大森 翔太	「仲間とはなにか」
小林 芽衣	「動物の殺処分ゼロ」	関 脩登	「一つのチームとなって」